

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	口腔保健センター補助事業				事業番号	011-175	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康医療政策課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—	
			無	取組	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	平成 2 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例、堺市口腔保健センター運営補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	一般社団法人 堺市歯科医師会	対象数	単位
			1	団体
7	事業の目的	・市民の歯と口腔の健康に対する意識の向上を図る。 ・障害等により一般の歯科診療所では受診困難な市民の歯科診療の機会を確保し、また、むし歯等の予防や悪化防止を図る。 ・市内歯科診療所等における歯科衛生士の量的・質的確保を図る。		
8	事業内容	・堺市口腔保健センターが実施する「歯っぴースクール（主に園児等を対象とした口腔ケアや指導など）」、「障害者歯科診療」、「障害者施設等に対する訪問口腔診査・ケア・指導」及び堺歯科衛生士専門学校運営事業を支援する。 ・なお、堺歯科衛生士専門学校の合計定員は120人（学年定員40人）、就学年限は3年である。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	一般社団法人 堺市歯科医師会		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	歯科衛生士専門学校の卒業生の市内就職率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	70	70	80	80
			実績値	82	92		
達成率			117%	131%			
当該指標を選定した理由		市内歯科診療所の人材確保に寄与することを目標とするため。					
目標値の設定根拠・算出方法		市内就職率の分母は当該年度の卒業生（進学者等を除く）。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	障害者歯科診療受診者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	2,100	2,100	2,100	
			実績値	2,255	2,143		
達成率			107%	102%			
当該指標を選定した理由		一般の歯科診療所では治療が難しい障害者の受診機会の確保を目標とするため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実績値を踏まえて設定。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	口腔保健センター補助事業	事業番号	011-175
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	47,940	48,214	48,079	48,079	48,015
	財 源					
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	内 其他（土地・建物貸付収入）	0	0	122	126	122
	内 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	47,940	48,214	47,957	47,953	47,893
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	48,750	49,024	48,919	48,919	48,885

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
16	事業費内訳	堺市口腔保健センター運営補助金	R7 決算	48,079	47,953		R7	決算		
			R8 予算	48,015	47,893		R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分		単位	令和6年度		令和7年度	
17	①	障害者歯科診療受診者数		人	2,255		2,143	
	②	上記①にかかる年間経費		千円	11,043		11,043	
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	4,897		5,153	
	算出についての説明等		障害者診療に要する歯科医師報酬等					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	歯科衛生士専門学校を卒業した生徒の市内就職率は、前年度よりも上昇している。また、一般の歯科診療所では受診が困難な市民の受診機会の確保をめざす障害者歯科診療所では、昨年度よりも受診者数が減少したものの目標値は上回っており、効率的に事業に取り組むことができている。市内の歯科診療所等とのネットワークを有し、また専門的知見を有する堺市歯科医師会が口腔保健センターを運営することで、事業目的の達成に向けて効果的・効率的に取り組むことができている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	障害者の歯科診療は、患者とのコミュニケーションが困難であるほか、不随意運動のために姿勢の維持や開口の動作ができないなど、一般の診療所では対応が困難な場合もある。そのような中、堺市歯科医師会では、専門的知見を有するスタッフや機材を揃えることで安心して受診することができる機会を確保している。また、令和5年度から、障害者歯科診療所が混雑している状況を踏まえ、むし歯の予防や悪化防止を図るため「障害者施設等に対する訪問口腔診査・ケア・指導」事業を実施している。その他、今後の医療需要の高まりに向けて市内診療所で従事する歯科衛生士の養成にも取り組んでおり、本事業は、健康を支える地域社会の形成に寄与している。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	障害者歯科診療は一般の歯科診療所では対応が難しい分野を担い、市民の受診機会確保に不可欠であることから必要性は高い。実績面でも受診者数は目標を上回り、人材確保に資する歯科衛生士の市内就職率も目標を達成し、高い水準を維持している。これらは、専門的知見とネットワークを有する歯科医師会による運営により、効率的かつ効果的な事業実施が図られているものと考える。
	有効性	■ 高い □ 低い	